

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	8 元気で豊かな農林水産業を育てる	事業群主管所属	農林部畜産課
施策名	(3) 農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化	課(室)長名	山形 雅宏
事業群名	① 品目別戦略の再構築(養鶏)	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)				
米や果樹、施設・露地野菜、畜産物、木材などの品目毎に、品質向上や多収化、新技術・新品種導入、規模拡大や増頭などの生産性向上対策による定時・定量・定質の出荷体制を確保していく取組をはじめ、ブランド化やコスト縮減対策などしっかり稼ぐための対策を推進します。						i) 特色ある鶏卵・鶏肉の生産と雇用就農を促進する養鶏経営の育成 ii) 家畜伝染病の発生防止および防疫体制の維持・強化				
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	産地計画策定産地の販売額		目標値①	1,040億円	1,053億円	1,067億円	1,076億円	1,093億円	1,093億円(R2)	
			実績値②	1,077億円	1,098億円	1,048億円	—	—	進捗状況	
		達成率②/①	103%	104%	98%	—	—	やや遅れ	養鶏では、畜産クラスター事業を活用した鶏舎建設により、飼養羽数が増加傾向にある。加えて、飼養管理技術が向上しており、生産性の向上やコスト低減の取り組み、及び各事業者によるブランド化の取組みにより、販売額は着実に増加している。(採卵鶏 H25実績 50億円 → H30実績 50億円)(肉用鶏 H25実績 40億円 → H30実績 68億円)	

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和元年度事業の成果等	中核事業				
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績			達成率			
				R元実績						R元目標	R元実績						
所管課(室)名		R2計画	R2目標		R2実績												
1	取組項目1	畜産クラスター構築事業費	H27-R3	1,342,870	121,235	7,972	養鶏生産者	地域特有の実態を踏まえた新たな取組を推進し、地域の中心的な畜産経営体を育成するため、高収益型畜産体制(クラスター)を構築した。養鶏においては、R2年度クラスター事業の要望に向け、計画作成支援を行った。 <事業内容> ・ウインドレス鶏舎、GPセンター等	活動指標	事業推進会議の開催回数(回)	2	2	100%	●事業の成果 ・推進会議の結果、2経営体からR元年度事業実施での要望があり、計画作成支援により、R元年度の事業活用につながった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・事業実施の推進により、計画作成の支援を行い、飼養羽数の増加に寄与した。	○		
				2,540,739	135,664	7,954					1	1	100%				
				3,330,834	48,208	7,975					—	—	—				
畜産課	—	—	—	—	—	—	—	—									
2	取組項目2	養鶏振興対策費	—	5,363	5,363	2,395	養鶏生産者	養鶏振興法に基づく諸対策及び鶏卵需給指導を行うとともに、鶏卵価格差補てん事業の推進を行い、養鶏農家の経営安定を図った。	活動指標	制度の周知徹底(回)	3	3	100%			●事業の成果 ・本事業の実施においては、制度の周知を行うことで、事業参加への認識は高まっており、概ね目標どおりの基金加入につながった。	
				5,460	5,460	2,390					3	3	100%				
				5,853	5,853	2,396					—	—	—				
畜産課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
								成果指標	基金加入羽数(千羽)	1,256	1,254	99%					
										1,198	1,273	106%					
										1,344							

3	家畜伝染病予防対策費	—	76,227	40,612	137,119	家畜保健衛生所	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防のため畜産農家の防疫対策の指導を実施するとともに、家畜伝染病が発生した場合には迅速な初動防疫が可能となるよう体制を整備した。	活動指標	鶏飼養農家の飼養衛生管理基準遵守状況確認率(%)	100	100	100%	●事業の成果 ・家畜伝染病予防法に基づく家畜飼養農家全戸への立入検査等により、鳥インフルエンザの発生が防止できた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・本事業の推進により、家畜伝染病の発生を防止でき、殺処分等を実施することがなかったため、養鶏業の安定化が図られた。	○
			51,377	32,585	136,809					100	100	100%		
			89,415	42,655	137,171					0	0	100%		
	畜産課				根拠法令	家畜伝染病予防法	成果指標	高病原性鳥インフルエンザの発生戸数(戸)	0	0	100%			
4	畜産技術研修費	—	186	186	800	県職員(獣医師、普及員)	技術の高度化と国際化に対応するため、農林水産省等が開催する畜産技術員研修や家畜衛生講習会等に参加し、指導力の強化を図った。	活動指標	研修参加人数(人)	11	11	100%	●事業の成果 ・本事業の対象は令和元年度当初、獣医師59名、畜産職普及員35名で、うち、獣医師9名、畜産職普及員2名が研修を受講。 ・地域の実情に応じた研修会を受講することで、畜産関係職員の知識及び技術の習熟を図り、畜産農家に対する指導力の強化につながった。	
			556	396	798					11	11	100%		
			483	323	800					10	10	100%		
	畜産課				根拠法令	—	成果指標	研修結果の報告率(%)	100	100	100%			
5	家畜保健衛生所費	—	39,140	34,644	31,888	家畜保健衛生所	畜産農家及び診療獣医師は、家畜保健衛生所に対して高度かつ迅速な対応を要望していることから、計画的な施設、検査機器等の整備を図り、その機能を向上させた。	活動指標	病性鑑定研修会実施回数(回)	4	4	100%	●事業の成果 ・リアルタイムPCRや超低温冷蔵庫等の整備により、迅速な診断が可能となり、家畜伝染性疾患の発生予防、まん延防止が図られた。	
			78,396	56,790	31,816					4	4	100%		
			86,497	71,016	31,900					4	4	100%		
	畜産課				根拠法令	家畜保健衛生所法 家畜伝染病予防法	成果指標	検査機器等整備率(%)	100	100	100%			
6	長崎県獣医師確保対策事業費	—	12,197	11,848	3,986	獣医大学生	産業動物診療獣医師や公務員獣医師を確保するため、獣医学専攻大学生に対し修学資金を貸与した。また、就職誘引を図るため、大学訪問やインターンシップ研修を実施した。	活動指標	周知大学数(大学)	17	17	100%	●事業の成果 ・新規貸与希望者については、4名から申込みがあり、3名へ貸与した。 ・令和2年4月に本事業の貸与者が県内に1名就職(家畜診療所)し、県内産業動物獣医師等の確保につながっている。	
			13,083	12,843	3,977					17	17	100%		
			16,984	16,691	3,988					3	2	66%		
	畜産課				根拠法令	—	成果指標	新規貸与者数(人)	3	3	100%			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 特色ある鶏卵・鶏肉の生産と雇用就農を促進する養鶏経営の育成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 畜産クラスター事業による施設整備を通して、規模拡大による増羽や生産技術の効率化によるコスト削減を図ることで産出額が増加しているが、今後も飼養農家戸数の減少による生産力低下が懸念される。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 採卵鶏・肉用鶏共に、今後も販売額を増加させ安定的な経営を推進するため、引き続き、畜産クラスター事業の推進、価格安定事業の取組の継続が必要である。</p>
<p>ii 家畜伝染病の発生防止及び防疫体制の維持・強化</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 近隣諸国・地域では、鳥インフルエンザ等の発生が継続しており、県内での発生予防及び発生した場合の迅速対応のため、これまでの取組を継続する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 県内での鳥インフルエンザ等の発生予防及び発生した場合の迅速対応のため、畜産農家の指導、防疫体制の整備、診断機器の整備等を実施する必要がある。</p>

4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
		所管課(室)名	(令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	畜産クラスター構築事業費	—	—	畜産クラスター協議会の中で、地域の取組状況や優良事例などの意見交換を行いながら、増羽や地域波及への効果の高い事業計画(ウインドレス鶏舎等)の実現に向けて、本事業(国)の予算確保に努めていく。	現状維持
		畜産課				
2	取組項目 i	養鶏振興対策費	—	—	養鶏経営の安定化のためには、国の制度である鶏卵生産者経営安定対策事業への加入が重要であることから、継続して推進していく。	現状維持
		畜産課				
3	取組項目 i	家畜伝染病予防対策費	—	②	本事業は家畜伝染病の発生防止・まん延防止に不可欠な事業であり、県も国の衛生対策方針に準じて、継続的に実施していく必要がある。また、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のために、農場の飼養衛生管理基準の遵守指導の充実や、防疫演習により得られた問題点を防疫マニュアルに反映させるなど、初動防疫体制の強化を図る。	改善
		畜産課				
4	取組項目 ii	畜産技術研修費	—	—	家畜防疫員のスキルアップやリーダー養成に向け、最新の知識や技術を習得する必要があるため、国等が実施する各種研修会等に積極的に参加し、技術の研鑽を積むとともに伝達講習会の実施等により、県職員全体の技術向上に引き続き努めていく。	現状維持
		畜産課				
5	取組項目 ii	家畜保健衛生所費	—	—	家畜伝染病等の発生防止のためには、家畜保健衛生所における高度な診断技術が必要であり、今後も施設、機器の整備は必須であり、国庫事業(消費安全対策交付金)の活用により施設、検査機器等の計画的な整備を図ることで、迅速かつ多様な疾病診断を実施する。	現状維持
		畜産課				
6	取組項目 ii	長崎県獣医師確保対策事業費	—	②	安定的な獣医療の提供のためには獣医師の確保が必要であり、引き続き、獣医系大学の訪問やインターンシップ研修を通して、修学資金貸与者や就職試験の受験者を確保するとともに、獣医師免許取得済者も含めて本県への就職誘引を図るため、ターゲティング広告の活用に加え、ツイッターやインスタグラムなどのSNSを活用し、本県の魅力及び採用情報を積極的に発信する。	改善
		畜産課				

注:「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点